

## 横浜市営地下鉄の延伸をどう生かすか 川崎市の交通計画にきちんと位置づけよ

横浜市が市営地下鉄3号線（ブルーライン）の延伸計画の調査に着手するとの方針が決定されました。

2000年の運輸政策審議会の答申では、あざみ野駅と新百合ヶ丘駅間の直線距離で約6kmのうち、横浜市域の3km分は2015年までに開業することが適当である路線とされ、川崎市域の3km分は同年までに整備着手することが適当であるとされています。

横浜市から川崎市に対し、小田急電鉄と併せた3者による検討会参加への要請があったとのことでした。

3号線の延伸については、横浜市の2010～13年までの中期4カ年計画に位置付けられた事業で、総工費を約1500億円と見積もっています。この中で「調査費」などの名目で5000万円が計画上の見込み額となっています。計画は2012年度から具体的に動き出すこととなります。

この延伸事業が、川崎市の総合都市交通政策にどのように影響を及ぼすかが全く不明なのが、大きな問題なのです。

### ODAKATSU コミバス実現に向け懸命に模索してきた

川崎市の中でも、交通不便地域が集まる有馬・東有馬地区は、鉄道駅やバス停からの距離が離れているエリアが多い地域です。加えて、激しい山坂の形状から、街中を縦横に走行する「コミバス」の実現を求める地域住民の声がたくさん寄せられてきました。

当初、市からの条件は、①従来の路線バスと経路が重ならないこと ②事業採算性を加味した路線とすること、

の2点だけでした。

必然的に、宮前平駅、区役所方面、さらに横浜市営地下鉄中川駅に接続させる案が浮上しました。横浜市との市境を走行し、有馬・東有馬地区を経由し、宮前平駅～区役所に至る全長約20kmに及ぶ路線となりました。

市バス車両を具体的に走らせる「走行環境テスト」を経て、2006年5月に協議会から修正路線案を提示したのです。まずは「行政提案路線で検討を進めてほしい」との要請で、09年3月に1カ月間の約8.8km路線の「運行実験」を行うに至りました。

午前9時から18時30分まで（区役所発）30分間隔での運行です。地域の皆さんには大変好評でしたが、約200万円の事業収支赤字となり、本格運行に向けた改善策が求められました。

2010年

1月に、65歳以上のOB運転手を活用して人件費を抑える案が市

から提出されました。この運行ダイヤも午前9～12時と、午後1～3時までの1時間に1本ずつ、1日計6本との運行ダイヤでした。採算性、利便性の視点から、朝にもう1～2本早いダイヤを組むことができないのが焦点となり、具体的な「運行実験」が行えない状況になっていたのです。

### ODAKATSU 「コミュニティ交通支援事業」に予算を獲得

この間、議会においても、市担当者とは粘り強く交渉を続けてきました。具体的な需要が予測できないと、公費を



投入する「運行実験」を行うことができないと主張する市の対応はかたくなでした。

これに対し「地域の需要は地域の市民が一番よく知っている」ことを前提に、事前のアンケート調査を行うことよりも、通勤や通学、通院など朝の時間帯の拡充について、需要の把握や採算性の検証のために「運行実験」することを主張してきました。市からの支援を正式に約束させることができたのは、今年の12月議会においてでした。

併せて、「有馬・東有馬地区」などに現在検討中のコミュニティ交通導入計画については、「総合都市交通計画策定」事業と切り離し、別立てで取り組むことを、市と再三にわたり確認をとってきました。

その甲斐もあって、2011年度予算のまちづくり費（まちづくり局の予算）に「コミュニティ交通支援事業」として、2381万円の予算が計上されました。

このうちの約350万円程度が、「有馬・東有馬地区」の1カ月程度の運行実験にあてられる見込みです。2011年度、なるべく早い時期に運行実験を行い、一刻も早い本格走行に向け、全力を尽くします。

### ODAKATSU 総合都市交通計画に市民の声を

さて、「総合都市交通計画策定に向けた検討委員会」が発足しました。

計画の策定目的には、①中・長期的な視点から、効果的、効率的な交通体



系の確立を目指す ②鉄道や道路のネットワーク、身近な地域交通などにかかわる様々な交通課題に対して、総合的な交通政策を構築し、戦略的な施策展開を目指す、とされています。

「鉄道路線と駅アクセスは一体で整備する」というのが川崎市の基本の方針です。ところが、事実上の凍結状態である地下鉄問題が曖昧なことが、バス路線の再編やコミュニティバスの新規導入など、身近な地域交通にかかわる様々な交通課題解決の最大の障壁となってきたのです。

このような現状の中で、市の正式な総合交通政策にコミュニティバスをどのように位置づけることができるのか、いよいよ正念場を迎えることになりました。

皆さんのご意見をいただきながら議会においてしっかりと議論を進めてまいります。



（東京新聞 1月12日付紙面より）

**〇ミニ集会に呼んでください**  
〒216-0003 川崎市宮前区有馬  
3-28-15 フレンドマートD号室  
Mail: oda@odakatsu.com  
TEL:044-856-5456 FAX:044-854-0012